

の	よ	う	な	症	状	に	加	え	、	服	用	し	て	い	る	薬	の	効	果
祖	父	の	場	合	は	、	病	気	が	進	行	し	て	い	る	た	め	、	こ
筋	肉	が	こ	わ	ば	り	手	足	が	動	か	し	に	く	く	な	る	、	転
が	や	す	く	な	る	な	び	の	症	状	が	で	ま	す	。	で	す	が	、
で	、	体	が	ふ	る	え	る	、	動	作	が	ゆ	っ	く	り	に	な	る	、
い	う	物	質	が	減	少	す	る	こ	と	に	よ	っ	て	起	こ	る	病	気
患	っ	て	お	り	、	支	援	を	受	け	て	い	ま	す	。	パ	ー	キ	ン
ソ	ン	病	と	は	、	脳	の	指	令	を	伝	え	る	ド	ー	パ	ミ	ン	と
度	の	生	活	を	保	障	し	、	自	立	を	助	け	よ	う	と	す	る	制
度	の	こ	と	だ	そ	う	で	す	。										
僕	の	祖	父	も	、	パ	ー	キ	ン	ソ	ン	病	と	い	う	病	気	を	
的	扶	助	や	サ	ー	ビ	ス	に	よ	る	生	活	の	安	定	、	充	足	し
と	あ	り	ま	し	た	。	公	的	扶	助	と	は	国	や	県	、	市	が	、
生	活	に	困	窮	す	る	人	々	に	対	し	、	経	済	的	に	最	低	限
今	回	、	僕	は	福	祉	作	文	に	取	り	組	む	に	あ	た	り	、	
ま	ず	、	福	祉	に	フ	ッ	て	知	ら	な	け	れ	ば	な	ら	な	い	と
思	い	、	辞	書	で	調	べ	て	み	た	こ	ろ	、	一	幸	福	。	公	
野	上	陽	生																
中	沢	中	学	校															
心	の	バ	リ	ア	ッ	リ													

か切れてしまおうと動けなくなつてしまつたり、
ロキ舌など動まづらくなつてしまつたため、
喋ることも難しくなつてしまひます。実際に
みんなが話しているときや出かけているとき
に動けなくなつてしまつたりして、一緒に旅
行などにも行けないのでとてもかわいそうだ
なと思ひます。だんだんとできることも少な
くなつていつてしまつているので本人も大変
そうだし、それを手伝つている祖母も自分
りも大きな祖父も支えたりとても大変そ
うだと思ひました。

僕は、これまで自分福祉とは全く関係
ないと思つていました。元気がたつた祖父が
病気になるつてしまひ、福祉サービスを受ける
ようになつたといふことをまづかけに、自分
も福祉と無関係といふわけではなく、自分も
福祉を受ける側になりうるんだといふことを
考えるようになり、バリ了フリーの大切さに
ついても改めて知りました。ですが、今の時
代、バリ了フリーの化が進んできているとい

え、病気が、障害も持っていている人たちからするとまだまだ不便なところもあるんじゃないかと思ひます。なぜなら、祖父も数段の階段が上かれずに、エレベーターやスロープがなく、て困った経験があるからです。また、ネット下障害を持つた人たちにとって普段の生活の中で障害を理由に不便を感じることに、出くあすことも多くあるかというアンケートも見ておたところ、7割以上の人が多いと回答してしました。さらに、ネットでの障害のある人たちやがどのようなことに困っているかを調やておたところ、段差があったり、ボタンが届かない位置にあるなどの物理的なバリエ。盲導犬が店に入れないなどの制度的なバリエ。聴覚が不自由な方は音声の案内が聞こえないなどの情報面のバリエ。精神障害を抱える人に対して、何をしてくるか分からないから怖いと決めつけたり、点字ブロックの上は無意識にものを置いてしまったりする意識上のバリエ。了やびがあるそうです。そして、そのようや

ことをふまえ、周りを見ておろし確かには、段差の多い場所があったり、車椅子に乗っていらるも届かぬようなところにボタンがあったり、盲導犬の入れない店があったりしました。

このようになごてから、僕は、病気や障害を持つた人たちがもつて暮らしやすい社会をつくるためには、まず、みんなが、病気や障害をもつた人たちのことをよく知ること、ということがかかっています。

そして、知った上で、いつ、誰もが福祉を受けける側になりうるということも知り、病気や障害を持つている人たちの問題、ではなく、自分ごとのように考えるというところが大切なんじゃないかと思いました。また、バリアフリーで病気や障害を持つた人たちの不便を全て解消するというのがとても難しいことだと思います。そのため、補えなところには周りの人たちが手助けをしたりして、心のバリアフリーで補い、支え合っていていきたいと思いました。